

館山市立博物館年報

令和3年度版

はじめに

館山市立博物館は、館山市の歴史と民俗及び房総半島の海と生活に関する資料の収集、展示、普及活動の拠点として、市民をはじめとする多くの皆様のご支援・ご協力を賜り現在に至っています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令、不要不急の外出抑制に伴う博物館の自主休館など、様々な制約下で博物館活動が求められた1年間でありました。

このような厳しい状況の中、例年同様に「新収蔵資料展」「収蔵資料展」「新・地区展」「企画展」及び各種講座・教室等を開催することができましたのは、市民をはじめとする多くの皆様方の支えによるものだと実感しております。

新型コロナウイルス感染症の収束については不透明なところはありますが、今後来館される方々の安全・安心を確保しつつ、館山市の歴史の継承と文化の振興を通じて“ふるさと館山”への誇りと郷土愛の育成につながる博物館運営に取り組んでまいります。

最後になりましたが、多くの方々のご支援・ご協力を賜り“館山市立博物館年報”が発行できましたことに厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年9月30日

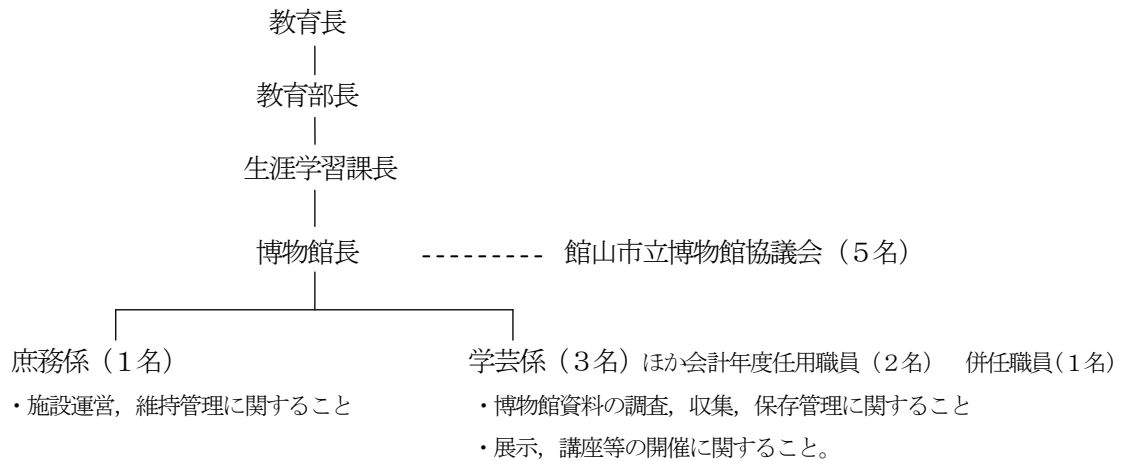
館山市立博物館長 三浦 太郎

目 次

I 組織と運営	1
(1 組織図 / 2 施設 / 3 館山市立博物館協議会)	
II 利用状況	2
(1 入館者数 / 2 学校等の利用 / 3 資料の利用)	
III 展示活動	7
(1 常設展 / 2 企画展 / 3 その他)	
IV 教育・普及活動	10
(1 印刷物の発行 / 2 講座・教室 / 3 おうちミュージアム / 4 博物館実習)	
V 調査・研究活動	13
(1 学芸員の活動)	
VI 資料の収集・保存	15
(1 新規収蔵資料)	
VII 施設運営・維持管理	17
(1 指定管理者との協働 / 2 館内における新型コロナウイルス感染症防止対策)	
VIII 例規	18

I 組織と運営

1 組織図



2 施設

名 称		所在地	沿 革
館山市立博物館	本館	館山市館山 351 番地の 2	昭和 58 年 (1983) 開館
	館山城 (八犬伝博物館)	館山市館山 351 番地の 2	昭和 57 年 (1982) 開館
館山市立博物館分館	“渚の駅” たてやま内 渚の博物館	館山市館山 1564 番地の 1	千葉県から旧安房博物館を移譲 平成 23 年 (2011) 開館

3 館山市立博物館協議会

(1) 委員

区 分	氏 名	役職名等
学識経験者	梶山 林繼	國學院大學名誉教授
学識経験者	清本 正人	お茶の水女子大学教授
学校教育関係者	相良 和久	館山市立館山小学校長
社会教育関係者	石井 則子	館山市社会教育委員
家庭教育の向上に資する活動を行う者	須田 啓子	元家庭教育指導員

(2) 会議

- ◆開催日 令和4年2月9日(水)【書面開催】
- ◆議題
 - 令和3年度博物館事業について
 - 令和4年度博物館事業計画について
 - 館山市公共施設個別施設計画について
 - 館山城(八犬伝博物館)指定管理業務について

Ⅱ 利用状況

1 入館者数

(1) 本館・館山城入館者数

◆令和3年度月別

(人)

月	合計	市内			市外			謎解き ゲーム	開館日数
		大人	小人	合計	大人	小人	合計		
4月	3,633	211	57	268	2,662	591	3,253	112	26
5月	4,817	192	45	237	3,322	1,030	4,352	228	27
6月	2,079	253	48	301	1,499	279	1,778	0	26
7月	2,612	176	26	202	1,944	466	2,460	0	27
8月	4,874	130	47	177	3,246	1,451	4,697	0	27
9月	2,894	159	74	233	2,154	440	2,594	67	26
10月	3,349	200	100	300	2,029	760	2,789	260	27
11月	5,412	409	135	544	2,790	1,541	4,331	537	25
12月	3,597	264	160	424	2,201	656	2,857	316	24
1月	5,474	268	67	335	4,034	912	4,946	193	27
2月	3,825	503	64	567	2,712	422	3,134	124	25
3月	7,805	610	275	885	5,203	1,316	6,519	401	27
合計	50,371	3,375	1,098	4,473	33,796	9,864	43,660	2,238	314

※別途、本館・館山城共通券の半券入館者あり

◆年度別推移

(人)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度
65,970	63,565	65,809	59,286	50,338	37,704	48,036	50,371

参考：分館（渚の博物館）入館者数・年度別推移

(人)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度
89,679	136,194	171,300	167,229	204,399	184,010	119,288	189,844

(2) 展示別入館者数

名 称	期 間	入館者数 (人)
新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	R3. 4. 24～ 6. 27	8, 917
パネル展「安房分院の磨崖碑 ー渋沢栄一と館山ー」	R3. 6. 15～12. 26	渚の博物館ギャラリー展示
収蔵資料展「楽しいもじ」	R3. 7. 10～ 9. 20	11, 587
新・地区展「九重 ー恵み豊かな里の人々ー」	R3. 11. 6～12. 28	10, 847
企画展「よみがえる近代安房の風景 ー川名写真館の世界ー」	R4. 2. 5～ 3. 21	10, 014

2 市内学校等の利用

(1) 本館見学 (学芸員の説明対応)

- R3. 6. 9 館山市立豊房小学校 14 名 (総合学習「里見氏と館山城」)
6. 24 館山市立豊房小学校 9 名 (豊房の歴史学習)
11. 24 館山市立西岬小学校 8 名 (昔の暮らし学習、里見氏学習)
12. 15 館山市立北条小学校 80 名 (昔の暮らし学習)
12. 17 館山市立北条小学校 80 名 (昔の暮らし学習)
12. 22 館山市立九重小学校 13 名 (新・地区展「九重」見学)
R4. 3. 9 館山市立館山小学校 71 名 (里見氏学習)
3. 18 館山市立館山小学校 32 名 (企画展「よみがえる近代安房の風景」見学)

(2) 職場体験学習

館山市中学生職場体験学習 (チャレンジ感動 in 館山) は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

3 資料の利用

(1) 放映・掲載など

申請日	資料名	掲載・放映媒体
R3. 4. 3	版画「八犬伝忠勇揃」	NHK「ブラタモリ」館山ロケ
4. 9	「布良連牛頭天王奉灯夏乱句合」(神田家文書) 他	2023 年度用高等学校検定教科書『精選日本史探求』(実教出版株式会社)
4. 12	宋版『孫真人玉函方』 他	月刊『東京人』7月号「東洋医学がすごい!」
4. 17	版画「諸国六十八景 安房鋸やま」	山陰中央新報「蝦夷地を測る」
4. 20	版画「不二三十六景 安房鋸山」 他	WEB サイト「奥多摩尾根歩き」
4. 13	写真「跡見氏別荘」	テレビ朝日「じゅん散歩」館山ロケ
4. 19	写真「堀田氏別荘」(寄託資料) 他	テレビ朝日「じゅん散歩」館山ロケ
4. 21	写真「鏡ヶ浦北條海水浴場」	テレビ朝日「じゅん散歩」館山ロケ
4. 26	鉦切洞窟出土鹿角製釣針 他	NHK「ブラタモリ」館山ロケ
4. 26	写真「北条海水浴場」	テレビ朝日「じゅん散歩」館山ロケ
5. 7	館山海水浴場写真(昭和初期) 他	NHK「ブラタモリ」館山ロケ
5. 11	九十九里干鰯づくりの写真	NHK「ブラタモリ」銚子ロケ

5. 25 版画「大日本物産図絵上総国建干網の図」 BS 日テレ「週末極楽旅」
6. 1 万祝型紙・雛形 他 『伝承文化研究』第18号（國學院大學伝承文化学会）
「万祝図柄と近世の風俗画」
6. 8 曲亭馬琴扇面「人あしも〜」 他 『馬琴研究—読本の生成と周縁—』（汲古書店）
7. 27 養育院安房分院磨崖碑竣工記念写真 他 公益社団法人館山法人会『館山法人会報』
7. 28 つりため生写の図、ヤロウイソガネ 他 和歌山県立紀伊風土記の丘秋期特別展「海に挑み、海を
ひらく—きのくに七千年の文化交流史—」展示図録
7. 30 「白浜町塩浦浅間神社」写真 他 『団体旅行の文化史』（創元社）
8. 5 槍・太刀（伝吉原玄蕃助所用） 他 塚原緑地研究所 謎解きゲーム資料
8. 6 斎藤光雲画「七夕祭」 他 安房美術会創立100周年記念誌
8. 20 曲亭馬琴肖像画、版画「円塚山」 他 塚原緑地研究所 謎解きゲーム資料
8. 26 分館展示室内万祝 おとなの週末編集部『おとなの週末』
9. 8 明治期うちわ制作風景写真 他 At home Presents「明日への扉」（ディスカバリー・チャ
ンネル/at home Web ページ）
9. 22 版画「八犬伝犬の草紙の内尼妙椿」 他 南総里見まつり実行委員会「親兵衛の街歩きスタンプラリ
ー」資料
9. 24 九十九里における干鰯づくり写真 NHKBS プレミアム「釣りびと万歳」
10. 6 下野国足尾庚申山之図 NHKBS プレミアム「グレートトラバース 315min. ～三百名
山全山人力踏破～ 皇海山」（再使用）
10. 11 南総里見八犬伝版本、万祝（捕鯨） NHK 総合「ひるナマ！北海道」
里見義康画像（『英名百雄伝』）、
やぐら、縄文土器 他
10. 11 恩田家文書「真田信吉知行宛行状」 『戦国遺文 真田氏編』（東京堂出版）
10. 25 版画「大日本六十余州の内安房里見の
姫君伏姫」、房州鋸（中屋吉右衛門作） テレビ東京「世界ニッポン行きたい人応援団！」
10. 26 東京養育院安房分院磨崖碑写真 ちば県民だより12月号、広報アプリ「マチイロ」
10. 29 タテボシアミ、ギジバリ（鯨骨製） 他 『コモンズとしての海』（西日本出版社）「古代・中世の気
候変動と沿岸環境」
10. 31 勝山調画「薪運びの図」 『嶺岡牧の歴史と安房の牛馬』（個人出版）
11. 5 房総林業写真帖 印西市立木下交流の社歴史資料センター市史編さん事業
11. 16 万祝、模様雛形 他 『東アジア文化研究』第8号「万祝図柄と宝船」
11. 18 房州鏡ヶ浦全景絵図、北条館山市街図 安房美術会創立100周年記念誌
11. 19 万祝（地引網漁） 『イワシとニシンの江戸時代』（吉川弘文館）
11. 21 万祝、模様雛形 他 千葉県立中央博物館春展示「苔松・苔梅—春を寿ぐうめの
きごけ—」展示解説パネル、解説パンフレット等
11. 30 布良村漁場布良瀬の図 他 日本テレビ「ザ！鉄腕！DASH！」
12. 3 版画「八犬伝犬の草紙の内里見義実」 『日帰り絶景ウォーキング関東周辺』（株）JT B パブリッシング
12. 5 万祝（醍醐組）、万祝（大謀網） 他 千葉県立現代産業科学館 正月展示「萬祝式大漁旗」

12. 7	渚の博物館常設展示室展示風景	公益社団法人千葉県観光物産協会「千葉県観光レップ（台湾市場）」
12. 8	ウタセブネ、ミヅキブネ、ジビキブネ 木他	神奈川大学国際日本学部 実測図作成、東京湾周辺地域 造漁船調査
12. 12	グリーナー砲等捕鯨用具の展示風景	全国科学博物館協議会第 29 回研究発表大会資料
12. 15	『南総里見八犬伝』版本 他	国立劇場令和 4 年初春歌舞伎公演『南総里見八犬伝』公 演解説書
12. 16	白牛酪考	BS テレビ東京「タタムなんてもったいない！」
12. 16	諸色覚日記	千葉県立中央博物館令和 4 年度特別展「鯨」資料調査
12. 21	勝山調画「ながしつりため生写之図」他	日本テレビ「ザ！鉄腕 DASH！」
R4. 1. 17	坂井翁作古墳出土 単鳳環頭大刀	「金銀装大刀からみた金鈴塚古墳の被葬者像」『金鈴塚古 墳と古墳時代社会の終焉』（国立歴史民俗博物館国内交流 事業研究成果報告書）
1. 19	岩崎巴人自画像、軍鶏図 他	安房美術会『安房美術会創立 100 周年記念誌』
1. 21	房総林業写真帖	印西市立木下交流の杜歴史資料センター『印西の歴史』 第 13 号
1. 24	斎藤光雲画「六軒町の七夕祭り」 他	安房美術会『安房美術会創立 100 周年記念誌』
1. 25	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて 北条と戦ふ」	『歴史研究』698 号（戎光祥出版）
2. 1	栄ノ浦遺跡出土遺物、沖ノ島遺跡出土遺物	文化庁『水中遺跡ハンドブック』
2. 8	大房砲台写真	また旅倶楽部 観光ガイド用資料
2. 28	番付「近世侠客有名鏡」	三鷹市生涯学習課「令和 2 年度文化財講演会 なぜ村名 を三鷹と名付けたのか」『三鷹市文化財年報』
2. 17	企画展「近代安房の風景」展示風景	東京湾フェリー(株) メディア用撮影
2. 21	チョウセン	国立歴史民俗博物館 複製製作調査
2. 25	版画「不二三十六景 安房鋸山」 他	ベイサイド金谷グランピング食事用マット
2. 25	富津御台場図	お城情報 WEB メディア「城びと」「日本 100 名城、続日本 100 名城に負けない名城」第 27 回（東北新社）
3. 2	根岸家文書	柏市教育委員会『沼南通史（仮）』資料調査
3. 4	版画「里見八犬伝一覧」 版画「大日本豪傑水滸伝 里見義実」	南房総市観光協会 WEB ページ
3. 9	写真「関東大震災で被災した下町」 他	千葉大学医学部記念メモリアル事業ビデオ
3. 10	里見義豊書状（上野文書）、正木時茂書状 （上野文書）、北条家印判状（鳥海文書）	『人物叢書 里見義堯』（吉川弘文館）
3. 12	日本寺法堂と大蘇鉄写真	日本寺記録用
3. 23	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて 北条と戦ふ」 等 30 点	『図説 戦国里見氏』（戎光祥出版）

上記の他、個人利用が 39 件あった。

(2)貸出

貸出期間	資料名	貸与先 (利用目的)
R3. 4. 3～ 4. 11	斎藤光雲作「七夕祭」	安房美術会 (100周年記念「物故会員及び顧問」作品展)
R3. 5. 20～ 6. 22	順序摺版木「東海道五十三次之内由井」 他	鋸山美術館 (歌川広重東海道五十三次展)
R3. 9. 10～12. 16	つりため生写の図ながしつり十九人のり 他	和歌山県立紀伊風土記の丘 (令和3年度秋期特別展「海に挑み、海をひらくーきのくに七千年の文化交流史ー」)
R3. 12. 1～R4. 6. 1	万祝、模様雛形、巻見本 他	千葉県立中央博物館 (令和3年度春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけー」)

(3)調査

調査日	資料名	調査機関 (目的)
R3. 4. 14	国県指定万祝	個人 (卒業論文調査)
6. 22	川名写真館旧蔵風景写真アルバム 他	菱川師宣記念館 (展覧会のための資料調査「大正時代 保田を愛した歌人や画家たち～石原純 原阿佐緒 金森南耕 山内多聞～」)
6. 24	沼つとるば遺跡出土品	松戸市立博物館 (企画展資料調査)
6. 25	捕鯨関連資料、万祝 他	千葉県立中央博物館 (企画展資料調査)
10. 6	チョウセン	国立歴史民俗博物館 (複製製作)
10. 11	坂井翁作古墳出土環頭大刀	個人 (「伝榛原町出土単鳳環頭大刀把頭をめぐる問題」『古谷毅さん還暦記念論文集 (仮)』実測図)
R4. 3. 21	富士講関係資料、根岸家文書	八千代市郷土博物館 (企画展資料調査)

Ⅲ 展示活動

1 常設展

本館では、歴史展示室と民俗展示室で常設展示を行ったほか、企画展示室では企画展で使用する時期を除き、テーマ展示として「岩崎巴人 水墨画の世界」、「安房の仏教文化」を開催しました。民俗展示室は、新型コロナウイルス感染防止のため、民家内の入室や触れる展示を中止しました。

館山城（八犬伝博物館）では、1階展示室において、『南総里見八犬伝』を紹介する常設展示を行いました。渚の博物館では、常設展示室で常設展示を行い、収蔵展示室は感染防止のため閉室しました。

2 企画展

(1) 新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」

- ◆期 間 令和3年4月24日（土）～6月27日（日） 開館56日
- ◆会 場 本館企画展示室
- ◆概 要 前年度に加わった新たな収蔵資料40件8,900点以上の資料の中から、消防・台風・コロナなどの防災関係資料、館山の文化人関係資料、市民関わった戦争や教育・文化の資料、昭和の生活や市内商店関係資料などを紹介しました。展示資料数114点。
- ◆関連事業 解説動画（市公式YouTubeチャンネルにて公開）



(2) パネル展「安房分院の磨崖碑—渋沢栄一と館山—」

- ◆期 間 令和3年6月15日（火）～12月26日（日）
- ◆会 場 分館企画展示室
- ◆概 要 東京市養育院安房分院の磨崖碑についてパネル展を開催しました。東京市養育院は館山市船形にある東京都船形学園の前身で、その磨崖碑は東京市養育院の院長をつとめた渋沢栄一の揮毫により大正6年に建設されました。新一万円札の絵柄になることが発表され、大河ドラマが放送されたことで渋沢栄一についての関心が高まり、要望があったことから、磨崖碑の写真や渋沢栄一と地元の人々との書簡などを紹介しました。写真22点、展示資料数13点。



(3) 収蔵資料展「楽しいもじ」

- ◆期 間 令和3年7月10日(土)～9月20日(月・祝) 開館63日
- ◆会 場 本館企画展示室
- ◆概 要 夏休み期間に合わせ、子どもや若者に親しみやすい展示内容とするため、「文字」という切り口で収蔵資料を紹介しました。書かれた内容ではなく、文字の色や形、大きさ、デザインに注目することで、モノをじっくり観察することのおもしろさを体験するとともに、町中の商店や公共施設の看板など、自らが暮らす街並みに興味・愛着を持つ契機としました。また展示開催にあたり、県立安房高等学校書道部および千葉大学デザイン文化計画研究室より文字をテーマとした作品の提供を受けました。関連事業として、千葉大学工学部デザイン文化計画研究室の主催によるワークショップ「型紙で遊ぼう～もじ編～」を実施しました。展示資料数117点。
- ◆印刷物 ポスター
- ◆関連事業 ①解説動画(市公式YouTubeチャンネルにて公開)
②ワークショップ「型紙で遊ぼう～もじ編～」7/18(日) 参加人数22人
③あなたの「もじ-1グランプリ」(好きな展示資料の写真にハッシュタグをつけてSNSで発信)
- ◆展示協力 県立安房高等学校書道部・千葉大学工学部デザイン文化計画研究室



(4) 新・地区展「九重-恵み豊かな里の人々-」

- ◆期 間 令和3年11月6日(土)～12月28日(火)
- ◆会 場 本館企画展示室
- ◆概 要 市内10地区の歴史と文化財を紹介する「新・地区展シリーズ」の第9回は、九重地区を取り上げました。九重は、館山市の東に位置し、現在も農業が盛んな地域です。九重というのは、明治22年に寶貝・水岡・安東・二子・菌・水玉・大井・竹原・江田の9つの村が合併したことに由来して名づけられました。

古墳時代には大井や竹原など山の中腹に数多くの横穴古墳が作られ、江田や竹原の平野では律令時代の条里遺構の発掘調査が行われました。中世には有力な豪族が活動しており、安東を中心に水岡や寶貝などに南北朝時代頃のやぐらや石仏・石塔・仏像が残されています。戦国時代から江戸時代の初めまでは里見氏が治め、明治8年に南片岡・北片岡・清水の3か村が合併して水岡村になるまで、江戸時代には11か村がありました。



古代から大規模な土地開発が行われ、有力な豪族たちが拠点とした九重地区の歴史を紹介しました。展示資料数 117 点。

◆印刷物 ポスター・図録 (カラー12 頁)

◆関連事業 ①解説動画 (市公式 YouTube チャンネルにて公開)

②第 40 回「わたしの町の歴史探訪―菌・二子―」11/21 (日)

(5)企画展「よみがえる近代安房の風景―川名写真館の世界―」

◆期 間 令和 4 年 2 月 5 日 (土) ～3 月 21 日 (月・祝) 開館 39 日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 近年、当館へ寄贈いただいた川名写真館旧蔵資料の一部を展示しました。市内館山 (新井) にあった川名写真館は、大正 2 年 (1913) に川名竹松氏が創業し、3 代にわたって営業を続けました。地域の写真館として住民たちの入学・卒業や結婚、葬儀、祭礼などの行事を多数撮影したほか、竹松氏は昭和初期には館山海軍航空隊や農林省水産講習所 (現東京海洋大学) のカメラマンを務めています。また絵はがきを発行していたことから、名所や寺社などの風景や関東大震災の被災状況など、当時の景観を伝える写真も数多くあります。竹松氏は若年の頃、滝口村 (南房総市) 出身の浅沼藤吉氏 (1852～1929) が東京日本橋に創業した写真材料店・浅沼商会に勤務しており、藤吉氏は大正 14 年 (1925) から晩年まで館山の別荘に暮らしました。本企画展では、こうした資料を元に、近代安房の風景と写真文化を紹介しました。



◆印刷物 ポスター・しおり・図録 (カラー44 頁)

◆関連事業 ①展示解説会 2/12 (土)・3/12 (土) 全 4 回・参加人数計 91 人

②解説動画 (市公式 YouTube チャンネルにて公開)

◆展示協力 千葉大学工学部デザイン文化計画研究室

3 その他

(1)パネル展「絵図士が知っている館山の見どころ文化財マップ展」

◆期 間 通年

◆会 場 本館休憩室

◆概 要 当館の市民ボランティアであるミュージアムサポーター「絵図士」が、過去に作成した文化財マップを写真で紹介するパネル展示を、令和元年度より実施しています。2 か月ごとにテーマを変え、「絵図士」がパネル作成・展示作業を行いました。本年度は「なたぎり神社」「法性寺」「金台寺」「光明院と諏訪神社」「国分寺」「正木諏訪神社」を紹介しました。

IV 教育・普及活動

1 印刷物の発行

(1)館報「ミュージアム発見伝」第96号

◆刊行時期 令和4年3月25日

◆部数 1,500部

◆概要 令和3年度に開催した展覧会の概要紹介、地区展の調査成果、おうちミュージアム・収蔵資料の紹介などの記事を掲載しました。

(2)文化財マップ

①「館山市内で見られる道しるべー江戸～大正時代の交通標識とその由来ー」

◆刊行時期 令和3年10月

◆概要 市内に分布する道標・里程標・道路元標について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」4名（青木徳雄、刑部昭一、鈴木正、吉村威紀）が山中の古道も歩いて調査し、文化財マップを作製しました。

②「石彫家俵光石の作品を訪ねて」

◆刊行時期 令和3年11月

◆概要 東京美術学校で石彫を学び、石工として地域に多くの作品を残した俵光石について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（青木悦子、金久ひろみ、佐藤博秋・佐藤靖子・鈴木以久枝）が調査し、文化財マップを作製しました。

③「田原長左衛門と石工俵家の世界」

◆刊行時期 令和3年11月

◆概要 石彫家俵光石の先祖や周辺人物の石彫作品について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（青木悦子、金久ひろみ、佐藤博秋・佐藤靖子・鈴木以久枝）が調査し、文化財マップを作製しました。

④「神余日吉神社・安楽院跡の文化財」

◆刊行時期 令和3年12月

◆概要 かつこ舞で知られる神余の日吉神社と中世武士神余氏ゆかりの安楽院跡について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（刑部昭一、川崎一、鈴木正、中屋勝義、山杉博子）が調査し、文化財マップを作製しました。

⑤「山本御嶽神社の文化財」

◆刊行時期 令和4年3月

◆概要 後藤流の本殿彫刻がある山本の御嶽神社について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（川崎一、鈴木正、殿岡崇浩、中屋勝義、山杉博子）が調査し、文化財マップを作製しました。

2 講座・教室

(1)歴史体験教室「甲冑を着よう」

◆概要 新型コロナウイルス感染防止対策のため中止し、当年度をもって事業を終了しました。

(2) 古文書を読んでみよう

◆開催日 令和3年6月～7月、および同年10月～令和4年3月 各月第3火曜日（午前・午後）および第3土曜日（午前・午後）実施。全4クラス各8回

◆概要 安房地域で作成された江戸時代の古文書をテキストとして、くずし字の読み方と地域の歴史を学ぶ初心者向けの講座です。感染防止のため各クラスの定員を従来の半数とし、4クラスを開講しました。

◆参加人数 火曜午前クラス27人・火曜午後クラス26人・土曜午前クラス26人・土曜午後クラス26人

(3) なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～（館山市図書館との共同開催）

◆開催日 令和3年7月29日（木）、8月5日（木）

◆場所 館山市図書館

◆概要 地域学習の宿題に困る小学生を図書館司書と博物館学芸員が連携してサポートする講座を平成28年度から実施しています。図書館編では、本を使った調べ方や、館内を探検しながら、調べたいことが載っている本の探し方を学び、博物館編では黒曜石が刺さったイルカの骨の写真や昔の道具を観察し、資料の調べ方を学びました。

◆参加人数 9人



(4) 歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第40回 菌・二子

◆開催日 令和3年11月21日（日）

◆場所 九重地区・菌・二子

◆概要 40回目となる今回は、新・地区展「九重－恵み豊かな里の人々－」の関連事業として、市内菌・二子で実施しました。学芸員が作製したイラストマップを片手に、妙長寺、三島神社などの寺社や白土抗、二子堰などを歩いて巡りました。

◆参加人数 21人



妙長寺の門前

3 おうちミュージアム

◆開催日 随時

◆概要 自宅でも楽しく学べるアイデアを紹介するプログラム「おうちミュージアム」として、館山市のWEBページにワークシートやぬりえ、公式YouTubeチャンネルに企画展の解説動画等を掲載しています。令和3年度に新たに追加したコンテンツは以下のとおりです。この他、地域紙「房日新聞」において、古文書クイズを連載しています。

(1) 展示解説動画

①新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」解説

◆掲載時期 令和3年5月

◆概要 新収蔵資料展の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約13分。

②収蔵資料展「楽しいもじ」解説

博物館動画ライブラリー



◆掲載時期 令和3年7月

◆概要 収蔵資料展の概要や楽しみかたを担当学芸員が解説しています。約4分。

③5分でわかる房総の船【渚の博物館 収蔵展示室のご紹介】

◆掲載時期 令和3年10月

◆概要 市立博物館分館（渚の博物館）収蔵展示室に収蔵されている国指定重要有形民俗文化財「房総半島の漁撈用具」について、学芸員が紹介しています。約5分。

④新・地区展「九重―恵み豊かな里の人々―」動画で展示を振り返ろう

◆掲載時期 令和4年1月

◆概要 新・地区展「九重―恵み豊かな里の人々―」終了後も内容が楽しめるように、概要を担当学芸員が解説しています。約9分。

⑤企画展「よみがえる近代安房の風景―川名写真館の世界―」概要と見どころ紹介

◆掲載時期 令和4年2月

◆概要 企画展「よみがえる近代安房の風景―川名写真館の世界―」の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約8分。

(2) ワークシート

①観察してみよう 町の移り変わり

②観察してみよう 震災の被害

③観察してみよう 戦時中の暮らし

◆掲載時期 いずれも令和4年2月

◆概要 企画展「よみがえる近代安房の風景―川名写真館の世界―」の開催に合わせて、展示資料を観察して学ぶワークシートとして作成しました。

4 博物館実習

◆期間 ①令和3年8月26日（木）～8月31日（火） 5日間

②令和3年9月7日（火）～9月16日（木） 5日間

③令和3年10月18日（月）～10月22日（金）5日間

◆人数 5名（川村学園女子大学・鶴見大学・駒澤大学・専修大学・目白大学）

◆概要 学芸員資格の取得を目指す学生が、資料の取扱い実習、寄付資料の整理作業、八犬伝博物館の展示替え作業、地域の文化財調査など、幅広い業務を体験しました。新型コロナウイルス感染防止策として、密集を避けるため3回に分けて実施しました。



V 調査・研究活動

1 学芸員の活動

(1) 岡田晃司（主任学芸員）

◆講師派遣

- ・令和3年9月1日 mihorin 企画リモートセミナー講師「房総の魅力と防災」
- ・同 10月19日 生涯学習出前講座（大戸やまゆりの会）講師「神余地区の歴史と自性院」
- ・同 11月28日 生涯学習出前講座（安房美術会）講師「画僧岩崎巴人と館山」
- ・令和4年3月27日 生涯学習出前講座（畑ヶ中新老人クラブ）講師「神余の神さま仏さま」

◆原稿執筆

- ・「画僧岩崎巴人と館山」（『安房美術会 100周年記念誌』、安房美術会、令和4年2月）
- ・「里見分限帳から蔵入村の分布を読み解く」（『里見氏研究』創刊号、里見氏研究会、令和4年3月）
- ・「里見氏の古文書探訪 第1回 豊岡家文書」（『里見氏研究』創刊号、里見氏研究会、令和4年3月）
- ・「館山平野周辺の道標を考える」（『館山と文化財』55号、館山市文化財保護協会、令和4年3月）

◆その他

- ・千葉県文書館古文書調査員委嘱（令和3年4月～令和4年3月）

(2) 宮坂新（主任学芸員）

◆研修・会議等

- ・令和4年3月10日 千葉県博物館協会地域振興委員会ブロック代表者会議（オンライン）

◆講師派遣・研究発表

- ・令和3年5月26日 生涯学習出前講座（那古地区公民館）講師「渋沢栄一ゆかりの場所ウォーキング」
- ・同 7月4日 館山市文化財保護協会安房学講座講師「まぼろしの鉄道—安房南部の鉄道敷設計画—」
- ・同 10月13日 中央公民館ふるさと講座講師「館山藩の組織と藩士」
- ・同 10月25日 生涯学習出前講座（館野地区公民館）講師「歴史探訪ウォーキング in 館野・第3回」
- ・同 11月1日 市立西岬小学校出前授業講師「里見氏と館山」
- ・同 11月12日 生涯学習出前講座（館野地区公民館）講師「歴史探訪ウォーキング in 館野・第4回」
- ・同 11月15日 生涯学習出前講座（船形地区公民館）講師「船形地区の歴史」
- ・同 11月17日 生涯学習出前講座（船形地区公民館）講師「船形地区の歴史」現地見学
- ・令和4年3月20日 首都圏形成史研究会・関東近世史研究会合同例会第1部報告「江戸町続」論と地域変容・行政」

◆原稿執筆

- ・「近世後期房総における東浦賀干鰯問屋木屋市兵衛の営業活動—安房国船形村正木家文書の紹介を中心に—」（『郷土神奈川』第60号、神奈川県立図書館企画サービス部地域情報課、令和4年3月）
- ・「(史料紹介) 館山藩士の記録「万用附込留」」（『館山と文化財』第55号、館山市文化財保護協会、令和4年3月）

(3) 山村恭子（主任学芸員）

◆講師派遣

- ・令和3年6月9日 生涯学習出前講座（市立豊房小学校）講師「戦争遺跡のはなし」
- ・同6月29日 生涯学習出前講座（県立安房特別支援学校）講師「戦争遺跡のはなし」
- ・同7月13日 生涯学習出前講座（県立安房特別支援学校）講師「戦争遺跡のはなし」現地見学
- ・同12月14日 生涯学習出前講座（シルバー人材センター）講師「戦争遺跡のはなし」

◆原稿等

- ・「八犬伝はじまりの地 安房（『南総里見八犬伝』ゆかりの地紀行）」（『国立劇場開場55周年記念 第326回—令和4年初春歌舞伎公演』、国立劇場、令和4年1月）
- ・「記念碑を受け継ぐ—東京市養育院安房分院の磨崖碑の現在—」（『館山と文化財』第55号、館山市文化財保護協会、令和4年3月）

VI 資料の収集・保存

1 新規収蔵資料

令和3年度の新規収蔵資料点数は以下のとおりです。

	寄付	購入	移管	採集	受託	合計
点数	2,927	65	63	0	100	3,155

・受託資料のうち更新分は含まない。

(1) 寄付資料

寄贈者（敬称略）	資料名	数量
加藤弘信	館山市 里見関係書籍	2
仲町区長	館山市 仲町山車外幕内幕	2
笹子三喜男	館山市 『絵入南総里見八犬伝』、めんこ	2
慈恩院	館山市 小原謹一郎碑	1
大徳院	南房総市 (埋葬用) 輿、渡辺雲洋花鳥図	2
渡辺法子	館山市 防空壕写真 他	35
庄司浩樹	埼玉県 軍服（陸軍将校正装） 他	44
前田裕子	館山市 古文書 他	113
小澤忠雄	南房総市 絵はがき・写真 他	387
稲垣祥三	館山市 古写真	10
石井紀子	館山市 千人針たすき 他	22
鳥居釋夫	館山市 用筆筒、行李、柵 他	8
中村俊一	館山市 房州切子	2
嶋田輝弥	館山市 通い徳利、『シラサギのくらし』	3
和田春樹	千葉市 写真「安房中学校グライダー部」	2
宇居弘之助	群馬県 稲葉正巳年頭祝儀礼状	1
館山銀座振興会	館山市 館山銀座振興会関係文書	257
高山昇一	南房総市 オキバコ、タマ、灯籠	3
三幣忠男	南房総市 旧丸本郷村三幣家文書	104
鈴木金司	南房総市 大井辻井家資料 タブネ 他	1633
能蔵院	南房総市 板戸（桜山学画）	8
伊藤悦子	館山市 千葉県漫遊独案内附海水浴場及別荘所在地 他	67
横山幸子	神奈川県 早川雪洲画「牡丹」	1
井原重之	佐倉市 中山義真作刀	1
石野裕男	館山市 石野家文書（卒業証書 他）	29
牛米努	東京都 金港堂発行『絵本南総里見八犬伝』見本	1

渡邊篤	南房総市	片刃鋸（製材用）	1
粕谷新悟	南房総市	鏡浦亭手ぬぐい 他	7
吉野隆志	館山市	秩父屋商店（南町）資料	114
小柴正典	館山市	俳句帳 他	20
山杉博子	館山市	安房水産高校体操服 他	7
富留宮直美	大阪府	『写真機械材料目録』（浅沼商会）	1
佐藤直美	鴨川市	菜花出荷用具 他	27

一部を除く。

(2) 購入資料

資料名	数量	資料名	数量
周淮郡上総上後城図	1	嘉永二酉閏四月英吉利船入津海岸御備之図	1
大正大震災志写真帖	1	大震災写真画報 第二輯	1
絵はがき「房州大地震惨害実況袋付」 (8枚1組)	1	房総観光御案内（昭和12年）（昭和14年）	2
館山の観光	1	日本商工業明細図 安房郡	1
万里小路通房宛渡辺千秋書簡	1	万里小路通房書簡	1
早川雪洲書まくり「忠孝」	1	『或る老女教師の歩んだ道』	1
「坂東三十三番札所めぐり」	1	江戸紫三人同胞	1
八犬傳物語	1	英語版八犬伝	1
絵はがき「安房名勝 北條海岸の漁舟」 他	48		

(3) 移管資料

資料名	数量	旧保管者
開校記念校歌手ぬぐい額	1	館山市立第三中学校
市立第二・第三中学校閉校関係資料	26	館山市教育委員会教育総務課
アニメ・ジェット船ポスター・チラシ	3	市経済観光部観光みなど課
館山湾海図（写し）	3	市経済観光部観光みなど課
溝口七生画「カンナ」	1	市総務部管財契約課
館山市教育放送センター関係資料	8	市総務部管財契約課
館山讃歌カセットテープ	1	市経済観光部農水産課
薪能関係書類及び写真	18	市総務部管財契約課
黒電話	1	市危機管理部危機管理課
看板「洲崎婦人消防隊」	1	市危機管理部危機管理課

Ⅶ 施設運営・維持管理

1 指定管理者との協働

一部業務について、指定管理者による博物館運営を実施しました。

(1) 指定管理者

株式会社塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫

(2) 期間

令和元年12月1日から令和6年11月30日まで（延長条件により更に5年間の期間延長可）

(3) 業務

- | | |
|--------------|---|
| ①本館 | 受付案内業務 |
| ②八犬伝博物館（館山城） | 受付案内業務、施設運営業務、維持管理業務の一部 |
| ③分館（渚の駅たてやま） | 受付案内業務 |
| ④令和3年度自主事業実績 | <ul style="list-style-type: none">・御城印等商品の企画製作、販売・受付時におけるキャッシュレスシステム運営・正月3が日の館山城臨時開館・謎解きイベント「館山城を救え 第二章」の実施・館山城企画展示「館山芸術大使 in 館山城 画狂人 井上文太展 一好きこそもの上手なれー」 他 |

2 館内における新型コロナウイルス感染症防止対策

- ①密を避ける注意喚起を受付前フロアに表示
- ②講座、教室において1人掛機を使用
- ③デジタルサイネージによる館内情報の集約化
- ④飛沫感染防止のため受付にアクリル製シールドを設置
- ⑤トイレ手洗蛇口の自動水栓
- ⑥展示室ケース等の消毒



また、(国) 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用して下記の改修を実施し、公共的空間の安全・安心確保に努めました。

博物館本館全トイレの洋式化、温水洗浄便座設置改修工事

洋式化	5 箇所
温水洗浄便座	7 箇所

Ⅷ 例規

○館山市立博物館設置条例

昭和57年6月26日条例第15号

最終改正 平成31年3月22日条例第5号

(設置及び目的)

第1条 本市は、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定により、市の歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うため博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
館山市立博物館	館山市館山351番地の2
館山市立博物館分館	館山市館山1564番地の1

(所管)

第3条 博物館は、館山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の所管に属する。

(事業)

第4条 博物館は、法第3条第1項の定めるところにしたがいおおむね次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行い、報告書等を公刊すること。
- (3) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。

(職員)

第5条 博物館に館長及び学芸員のほか必要な職員を置く。

2 前項の館長は、非常勤とすることができる。

(観覧料)

第6条 博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料(1人につき)			
	個人		団体(20人以上)	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	100円	200円	80円	150円
一般	200円	400円	150円	300円

2 前項の規定にかかわらず、特別展を開催している期間においては、博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料(1人につき)			
	個人		団体(20人以上)	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	150円	300円	100円	250円
一般	250円	500円	200円	400円

(観覧料の減免)

第7条 市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料を減免することができる。

(既納観覧料の還付)

第8条 既納の観覧料は、これを還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、還付することができる。

(博物館協議会)

第9条 博物館に館山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、7人以内とする。

4 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(指定管理者による管理)

第10条 教育委員会は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その

他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に博物館の管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務）

第11条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の運営に関する業務
- (2) 博物館の維持管理に関する業務
- (3) 博物館の観覧に係る料金（以下「利用料金」という。）の徴収等に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

（利用料金）

第12条 指定管理者が徴収する利用料金は、第6条の表に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、同項の規定により利用料金を定めることが適当でないと認める場合には、あらかじめ市長の承認を得て、利用料金を定めることができる。

3 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

（指定管理者が行う管理の基準）

第13条 指定管理者が行う管理の基準については、この条例及び館山市指定管理者の指定手続等に関する条例（平成18年条例第42号）に定めるもののほか、教育委員会が別に定める。

（読替え）

第14条 第10条の規定により指定管理者に博物館の管理を行わせた場合における第7条、第8条及び附則第2項の規定の適用については、第7条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料」とあるのは「指定管理者は、公益上その他必要と認めるときは、市長の承認を得て、利用料金」と、第8条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「市長が特別の理由があると認めるときは」とあるのは「指定管理者は、特別の理由があると認めると

きは、市長の承認を得て」と、附則第2項（見出しを含む。）中「観覧料」とあるのは「利用料金」とする。

（委任）

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、昭和57年10月1日から施行する。
（観覧料に関する特例）
- 2 当分の間、館山市立博物館分館の常設展の観覧料については、無料とする。

※以下省略

○館山市立博物館管理規則

昭和57年9月23日教育委員会規則第8号

最終改正 平成31年3月22日教委規則第4号

（趣旨）

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例（昭和57年条例第15号。以下「条例」という。）に基づき館山市立博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、入館することができる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2 館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）
 - (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(観覧の手続)

第4条 博物館に入館し観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、条例第6条に規定する観覧料を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 条例第7条の規定により、観覧料を免除することのできる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき。
- (2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)で定める身体障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (3) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)にいう知的障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)で定める精神障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (5) 市内に所在する老人ホーム、福祉作業所その他の福祉施設の入所者及びその施設の職員が、当該施設の行事として観覧するとき。
- (6) 市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校及び高等学校の園児、児童及び生徒並びにその引率者及び保護者が、当該学校等の行事として観覧するとき。
- (7) 前各号に定めるもののほか教育委員会が公益上必要と認めるとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者は、前項第1号から第4号までに規定する場合を除き、あらかじめ教育委員会に観覧料の免除の申請をしなければならない。

3 教育委員会は、観覧料を免除したときは、観覧券を交付するものとする。

(入館の制限)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 所定の観覧券を所持しない者
- (2) 指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者

(3) 泥酔者その他観覧者に不快の感を与えると認められる者

(4) その他管理上支障があると認められる者(禁止行為)

第7条 観覧者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく博物館資料を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食すること。
- (4) その他、他の観覧者の妨げになる行為をすること。

(損害賠償)

第8条 観覧者は、博物館資料、建物若しくは備品等を損傷し、又は滅失した場合には、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(読替え)

第9条 指定管理者(条例第10条に規定する指定管理者をいう。)に条例第11条に規定する業務を行わせる場合における第2条第2項、第3条第2項、第4条、第5条及び第6条の規定の適用については、第2条第2項中「館山市教育委員会(以下、「教育委員会」という。))は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第3条第2項中「教育委員会は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第4条中「第6条」とあるのは「第12条」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第5条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条第1項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同項第7号中「教育委員会が公益上必要と認める」とあるのは「指定管理者が公益上必要と認め、市長の承認を得た」と、同条第2項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、同条第3項中「教育委員会は」とあるのは「指定管理者は、市長の承認を得て」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第6条中「館長」とあるのは「指定管理者」とする。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和57年10月31日から施行する。

※以下省略

○館山市立博物館協議会運営規則

昭和59年4月24日教育委員会規則第5号

改正 平成17年8月19日教委規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例(昭和57年条例第15号)第10条の規定により館山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要がある場合において、会長が招集する。

第4条 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことはできない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係職員の出席)

第5条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(庶務)

第6条 会議に関する庶務は、館山市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則(平成17年8月19日教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

館山市立博物館年報

令和3年度版

発行日 令和4年9月30日

編集・発行 館山市立博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

TEL 0470-23-5212 FAX 0470-23-5213